

令和4年度下水道事業の経営方針及び予算の概要

1 事業の経営方針

下水道事業を長期的な視点で見ると、人口減少等による使用料収入の減少並びに耐用年数を迎える下水道施設が増加することによる施設の改築更新及び維持管理に多額の費用が見込まれます。そのような環境下においても、住民生活に必要な不可欠である下水道事業を将来にわたり安定してサービス提供していくことが求められています。

小金井市下水道事業では、経営状況や資産の状況を的確に把握するため、令和2年度から地方公営企業法の財務規定を適用しました。

市民が安心して快適な生活を営めるよう、良好な生活環境の維持及び公共用水域の水質保全のため、より一層の経営の健全化に努めます。

2 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

収益的収支の予算には、当該年度の企業の経営活動に伴い発生すると予定される全ての収益及びそれに対応する費用を計上しています。

(単位：千円)

収 入				支 出			
区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	区 分	令和4年度	令和3年度	増減額
営業収益	1,634,854	1,618,360	16,494	営業費用	1,984,678	1,998,410	△ 13,732
下水道使用料	1,101,491	1,085,348	16,143	管きよ費	189,824	215,711	△ 25,887
雨水処理負担金	532,965	532,579	386	流域下水道管理費	743,434	721,263	22,171
その他営業収益	398	433	△ 35	業務費	175,120	192,164	△ 17,044
営業外収益	472,493	473,713	△ 1,220	総係費	89,094	82,344	6,750
他会計補助金	24,459	23,748	711	減価償却費	787,206	786,928	278
補助金	315	315	0	営業外費用	40,392	40,044	348
長期前受金戻入	447,589	449,521	△ 1,932	支払利息及び企業債取扱諸費	20,789	22,990	△ 2,201
雑収益	130	129	1	消費税及び地方消費税	19,603	17,054	2,549
				予備費	30,000	30,000	0
				予備費	30,000	30,000	0
合 計	2,107,347	2,092,073	15,274	合 計	2,055,070	2,068,454	△ 13,384

(2) 資本的収支の状況

資本的収支の予算には、諸施設の整備、拡充等の建設改良費及びこれに要する資金の企業債収入、その元金償還等を計上しています。

(単位：千円)

収 入				支 出			
区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	区 分	令和4年度	令和3年度	増減額
企業債	173,000	144,000	29,000	建設改良費	420,668	319,192	101,476
下水道事業債	173,000	144,000	29,000	管きよ建設改良費	327,822	230,776	97,046
他会計負担金	1,136	1,711	△ 575	流域下水道建設費	92,846	88,416	4,430
他会計負担金	1,136	1,711	△ 575	固定資産購入費	1,406	0	1,406
				固定資産購入費	1,406	0	1,406
				企業債償還金	85,692	87,729	△ 2,037
				建設企業債元金償還金	85,692	87,729	△ 2,037
				予備費	10,000	10,000	0
				予備費	10,000	10,000	0
合 計	174,136	145,711	28,425	合 計	517,766	416,921	100,845

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額3億4,363万円は、当年度分損益勘定留保資金（収益的収支のうち現金支出を要しない減価償却費等から現金収入を伴わない長期前受金戻入等を差し引いた額）で、全額補填します。